

『本物のクリスチャン』 ヨハネの福音書8章31～40節 2017.11.26(聖日礼拝説教より)

『もしあなたがたが、わたしの言葉にとどまるなら、あなたがたは本当にわたしの弟子です。そして、あなたがたは真理を知り、真理はあなたがたを自由にします。』 ヨハネ 8:31～32

①信じたには、信じたが…『イエスを信じたユダヤ人たち(8:30)』は、間もなくイエスを殺そうとするようになる。かつてはイエスの教えに感動して信じたが、信じ続けられなかった！多くのクリスチャンが教会を離れるのは今も同じ！信仰が長続きしないのは、御言葉に「とどまらない(8:31)」から！御言葉が心に根をおろし、生活の隅々に根を張れば(8:37)、この方から離れることなどない！あなたは日々聖書を読み、その御言葉は心に留まっているか？◆試練の中で心が動揺する時、「世にあっては患難がある。しかし勇敢であれ！わたしはすでに世に勝った(16:33)」との御言葉を思い出せるか？疲れ、限界の真ん中で、「主を待ち望む者は新しく力を得、鷲のように翼をかけて上ることができる。走ってもたゆまず歩いても疲れない(イザヤ 40:31)」との御言葉に身を委ね、主の言葉通りに信じて湧きあがる、不思議な力・元気を体験しただろうか？『真理はあなたがたを自由にする(8:32)』の「真理」とは、イエスご自身！その命と恵みと力の御言葉が、「世の力」からあなたを自由にする！「祈ったって無駄！信じて何も変わらない！」との悪魔の囁きから解放する！

②そもそも罪とは…「罪の奴隷(8:34)」の特徴は3つ。①的はずれ！この世で「普通」でも神の愛から離れれば「的はずれ」！クリスチャンは、なすべき正しいことを知っている…はず(ヤコブ 4:17)！②心の汚れ・マルコ 7:21-23！共におられるイエスに聞かなければ、心の奥底から出るもので自分も隣人も汚す！③死に至る・ローマ 6:23！罪とは心を汚すだけでなく、生きる元気・興味や関心・喜びや感動を失わせる！エペソ 2:1-2「あなたがたは自分の罪過と罪との中に死に…この世の流れに従い…」罪の生活は、的はずし、心を汚し、目標を見失わせ、世に流され、滅びに向かう！

③本当の自由…イエスを信じて得られる「自由」は、第一に、「罪に対する無力」を認め、生活が具体的に悔改めさせる！第二に、いつでも、どこでも、父なる神に近づくことができる！神様を「天の父よ」と呼び、神の子としていつでも御傍に近づき、その懐に留まり続けることができる！「悔い改め」こそ、あなたを罪から自由にし、神との交わりを回復させる。

★正直に自分を見つめて日々悔改め、御言葉が心に根をおろし、本当の自由をもって、人を赦し、愛し、祈り合い、平和を作り出す本物のクリスチャンになりたい！